

(4) 主要事業の概要

水道施設の維持管理を行うとともに、老朽化対策及び耐震化を計画的に実施し、安全・安心、安定的な水道水の供給体制の整備に努めます。

また、豪雨時等の原水の濁度上昇による取水制限リスクを低減するため、片平取水場の取水機能強化対策について検討します。

(消費税込み)

	業 務 量 等		主 要 事 業
	令和5年度要求	令和4年度当初	
供給区域	松本市、塩尻市、山形村	松本市、塩尻市、山形村	○水道事業改良費 648,481千円 ・施設及び設備の老朽化対策 (急速ろ過設備制御盤取替工事等) ・施設及び管路の耐震化 (本山浄水場排水処理施設耐震化工事等) ・豪雨等による高濁度対策の推進 (片平取水場機能強化) ○広域化・広域連携の推進 15,008千円
年間総供給量	29,646千m ³	29,555千m ³	
1日平均供給量	81,000m ³	80,973m ³	
料金収入	1,447,910千円	1,443,460千円	
建設改良費 (債務負担行為設定額)	659,114千円 (350,000千円)	681,873千円 (336,000千円)	

- 注) 1 収益的収支は、主に営業活動に係る収入及び支出を表します。
 また、支出額には減価償却費等の現金支出を伴わないもの(損益勘定留保資金)を含みます。
- 2 資本的収支は、主に設備投資に係る収入及び支出を表します。
 なお、収入が支出に対し不足する額は、損益勘定留保資金等で補てんします。
- 3 損益は、収益的収支の差額から消費税相当額を控除したものです。